



Rotary International
SERVICE Above Self
超我の奉仕

2005～2006年度

国際ロータリーテーマ: カール・ヴィルヘルム・ステンハマー会長



Rotary Club of Tokyo-Akasaka

赤坂

東京赤坂ロータリークラブ

No.908 / 2006.5.19

例会 / 毎週金曜日12:30

例会場 / 東京全日空ホテル Tel 03-3505-1111

事務局 / 〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp

http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「全員参加で実行しよう」

2005～2006年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ / 小杉修造会長

●本日の例会 / 2006年5月19日第930回例会

ブッフスタイル例会のため卓話はありません。

— ●先週報告 / 2006年5月12日第929回例会 —

卓話

「温泉への20年の取組」

NPO法人健康と温泉フォーラム常任理事

井上昌知氏

(紹介者 松永秀和君)



特別来賓 千代田グループ 永富ガバナー補佐:

東京赤坂ロータリークラブへと名称変更をされ、活気あふれ、より発展しますよう、お祈り申し上げます。また、貴クラブは、千代田グループ内で、CLPをいち早く採用、実行に移され、地区の手本となり、活発な奉仕活動を期待いたします。

幹事報告: 本日の例会後は、本年度・次年度合同の定例理事会を開催いたします。本年度・次年度の理事・役員の方はお集まりください。

親睦活動委員会: (西澤(民)委員長)

- ①5月27日(土)～28日(日)に親睦旅行を行います。お申し込みは、本日5月12日となっておりますので、よろしく願いいたします。
- ②5月9日をもって、本年度10回全ての火曜会が終了いたしました。10回のプログラムは、ほぼ予定通りに進められました。皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

社会奉仕委員会: (田村委員長)

- ①アフンの森から、ハガキ「春便り」が届きましたので紹介いたします。
『やっと黒姫にも春がやってきました! 4月に入ってから何度も雪が降り、とても寒い日々が続きましたが、今日は暖かい陽射しが森に溢れています。皆様いかがお過ごしですか。いつもアフンの森財団を温かくご支援いただき、ありがとうございます。(中略)これから植林や新しく増えた森の整備など忙しい日々が待っています。アフンの森は生命にあふれる季節です。皆様、どうぞお元気で過ごしてください。』
- ②5月19日、5月26日の例会時に、使用済みカード、使用済み切手、書き損じハガキを集めます。皆様のご協力をお願い申し上げます。

慶事披露: 誕生日祝 /

小原健君 (5月7日)、伊藤文武君 (5月7日)

出席報告: 会員55名 / 出席31名・欠席24名 (出席規定免除者5名) ビジター4名、ご来賓1名、ゲスト1名

2006年5月本年度・次年度合同理事会議事録

日時 2006年5月12日(金) 例会後 13:50～15:20

場所 東京全日空ホテル 1F かすみ

出席者 小杉、荒木、土屋、福島、西澤(民)、村山、松永、清水、吉岡、田村(昭)、岩上、竹本 (敬称略・順不同)

決議事項

1. 第6回クラブ協議会(6/9)の件を次の通り承認。
①テーマ「本年度各委員会活動報告と次年度各委員会活動計画」
②本年度各委員長に6月2日までに「本年度各委員会報告書」を事務局へ提出していただく。
2. 本年度最終例会・打ち上げ会(6/23)の件について次の通り承認
①新会員歓迎会を兼ね「夜間例会(最終例会)・新会員歓迎会・打ち上げ会」とする。
②場所「ステージY2」、とき6月23日(金)午後6時～8時20分
③会費: 会員8000円、ご家族6000円、新会員の奥様は会費無料。
3. 東京赤坂ロータリークラブ改称記念夜間例会収支報告について承認
4. 社会奉仕委員会報告(田村(昭)委員長)
チャリティーバザーの収益金の一部100,000円を風の子会へ寄贈。(5月19日の例会に事務局長へお渡しいたします)
5. 退職給与引当金(事務局)について積み立てをすることを承認。

報告事項

1. 会計報告(4月末・改称記委員会収支報告)
①ロースターの費用については、一部個人負担を検討
2. マッチング・グラントの件について
東京南ロータリークラブとの合同プロジェクトとして、本年度をスタートとし、次年度へ継続活動として承認。
3. 国際親善奨学生三橋様の留学先は、カリフォルニア大学サンディエゴ校に決定。

次年度

1. 2006-2007年度 委員会構成(案)について承認
2. 2006-2007年度 行事計画(案)について
①夜間例会をあと1回入れる予定。
3. クラブテーマの件
4. 2007-2008年度 来日交換学生受け入れの件について検討していく。



5月12日 / 5件10,000円 / 本年度累計1,098,000円
多額のご寄付をありがとうございました。(敬称略)

福島賢哉 / 永富ガバナー補佐ようこそいらっしゃいました。ごゆっくりお過ごしください。庄司泰典 / ゴールデンウィークを利用して奈良大和路へ行ってきました。天気にも恵まれ、新緑がきれいでした。西澤民夫 / 無事火曜会の全日程を終了いたしました。ご協力ありがとうございました。椎名康允 / 岩上さん、ニコニコピンチヒッターご苦労さまです。

昨年11月4日に入会させていただいて以降東京全日空ホテルに週一回通う生活が始まりましたが、実はこのホテルを含むアーキヒルズが私の職業人としての出身地であるという意識を持っております。アーキヒルズは昭和61年4月にグランドオープンいたしました。当時私は大学4年、ちょうど就職活動が始まった時期でした。職業として不動産業を選択することは既に決めておりましたが、一口に不動産業と言っても賃貸、開発、流通、管理とその業態は大変多岐に亘ります。私は昭和62年4月から職業人としてスタートを切ったわけですが、当時の学生の就職活動は大学4年の4月からでして世は正にバブル経済の絶頂期。後にバブルの原因は金融緩和がもたらした過剰な流動性ということが定説になっていますが、この頃はまだ東京がニューヨークやロンドンと並ぶあるいは超える国際金融センターとなっていく過程の一つであるともしやかに言われていた時期です。その象徴としてこの年の話題をさらったのがここアーキヒルズでした。学生の就職活動など流行に左右されやすいものですから、私は迷うことなく数ある不動産業の中でも市街地再開発を一生の職業とすべく昭和62年4月森ビルに入社いたしました。

森ビルは大変ユニークな会社でありまして、開発予定地に若手社員を強制的に住まわせるという施策を採っていました。街や住民の動向をいち早くキャッチし開発用地の確保に万全を期すという趣旨です。私は、入社と同時に愛宕山の麓の古い寄宿舎への居住を命ぜられました。今とは違って当時のオフィス街にはコンビニもファミレスもなかった時代ですから随分と不便を強いられたものです。お陰で住むことこそがその地域を知り抜くということを学びました。このことは、現在の私の仕事のやり方にも大きな影響を与えております。私が最初に居住を命ぜられた愛宕山の山麓一体はその後「愛宕グリーンヒルズ」になりました。その後も麻布山善福寺、六本木木本町と赴任を命ぜられ、それぞれ「元麻布ヒルズ」、「六本木ヒルズ」に生まれ変わっております。

平成3年、4年近く勤めた森ビルを辞め、日本信託銀行開発事業部に転職いたしました。信託銀行が土地信託と称し自らビルやマンションを開発していた時代です。森ビルでの経験を活かし、プロジェクトは小粒にはなりましたがその分裁量も責任も増し、用地の選定から建設企画、テナント募集と充実した日々を過ごしておりました。しかし、そうした日々もそう長くは続きませんでした。

日本信託銀行は他の財閥系信託銀行とは違い顧客基盤が脆弱だったため不動産融資に傾注しておりました。そして、折からのバブル崩壊により平成6年実質破綻し三菱銀行の子会社となり再出発を余儀なくされました。三菱銀行の方針により開発業務は中止され、不動産業務は流通のみを残すこととなりました。開発業務を一生の職業と考えていた私にとっては社内失業にも似た状況でしたが、このことが自分の職業人としての大きな転換点になろうとはこの時思いもしませんでした。

不動産流通業務とは、不動産売買及び貸借の機会に生ずる総合的なコンサルティング業務と言えます。私はこの業務に就き間もなく同じ不動産業務の中でも開発とは全く違う素養が必要とされることに気が付きました。違いを一言で言えば、圧倒的支配権を有する開発、有しない流通ということになります。開発は全て自己ポジションで仕入・建設・販売・賃貸を行いますので、支配権を有する業態と言えます。不動産流通業は、他の財の流通業のように商品を一旦仕入れることもない、完全なアドバイザー業務です。支配権がない業態ですので、開発から移った社員の多くは馴染めずにおりました。自分の性格はよくわかりませんが、支配権がないながらも最終的には自分で流通をコントロールしていくこの業態が私の肌に大変合いました。そして、開発業と違ってチームワークはさほど必要とされずむしろ一つの流通案件においては担当者が社長のようなものであることも同時に知りました。日本信託銀行の実質破綻ということがなければ、起業するということもなかったわけですね。

平成15年、三菱信託銀行を辞め、株式会社タリアセンハウ

スを設立いたしました。地域に根ざした不動産流通会社を目指しております。イチローは打率よりも安打数に拘るといいます。1試合、2試合打てなくても仕方ないという姿勢では262本は達成できなかったでしょう。私は、月並みですが「継続は力なり」という言葉が好きです。一步一步の歩みは遅くとも、20年間不動産業一筋の職業人生を歩んできたことを誇りに思っております。この職業を通じて、社会にそして地域に少しでも貢献できればと思っております。

5月火曜会報告

5月9日、本年度最後の火曜会が全日空ホテル36階マンハッタンラウンジで開かれた。タイトルは「本年度を振り返って」小杉会長、土屋副会長、福島幹事をはじめ、西澤(民)親睦委員長の司会進行で18時30分より開催、参加者全員にマイクが渡り、各自本年度の印象に残った事などを話しました。

内容としては、本年度、新南から東京赤坂に名称が変わって初めての女性会員が入会した。会員増強では、目標30名が難しかった等々、又当日は麻布RCから佐々木さんがゲストとして参加して下さいました。(尾上記)

参加者：吉岡、飯島、椎名、尾上、佐々木、高須、小日向、西澤(民)、田村、小杉、武下、岩上、荒木、松永、吉田(用親)、土屋、福島(敬称略、順不同)

R1第2750地区2006～2007年度地区協議会

日 時	2006年4月25日(火) 10:00～17:00
場 所	ホテルセンチュリーハイアット東京
ホストクラブ	東京羽田ロータリークラブ

本会議

次期会長 荒木昭文

第2750地区83クラブ、参加者数約870名が集い、次年度谷島ガバナリーの点鐘により開催され、当クラブからは次年度理事役員を中心に9名が出席し、午前は全体会議、午後は9つの分科会に分かれ熱心な討議が行われた。

本会議では、次年度谷島ガバナリーより「国際協議会報告及び次年度地区方針・地区予算案について」講演があった。

次年度RIのウィリアム B. ボイド会長のテーマ「LEAD THE WAY」「率先しよう」は、ロータリーは行動・実践を伴わなければならない、超我の奉仕と率先しようは車の両輪であり、ロータリアンが世界を変える力を持っているという信念を表したものであること。ロータリアンは、奉仕を選ぶ際に「実用と必要性に基づいて立ち上がらなければならない」「真のニーズが何であるかを見極め、柔軟で協力的な姿勢で活動に臨む」「奉仕は一方通行であってはならない。私達が援助する人々と協同して行わなければならない」と説いています。次年度RIの強調事項は、「水保全」「識字率向上」「保健及び飢餓」「ロータリー家族」を選んでいきます。

そして、第2750地区は昨年ロータリー第2世紀の第1章をスタートし、次年度は各々のクラブがより活性化するためのクラブ・リーダーシッププラン(CLP)を更に推奨し、地区リーダーシップ・プラン(DLP)と併せ、両輪として各々のクラブがより活性化し、効率的なクラブへと変身するよう支援をしていきたいと言われました。

次に地区の重点目標9項目、会員増強(各クラブで純増1名以上)等が示され、各クラブと地区のグループ協議会を強化することによって、RIテーマに沿った活動を進めていけるものと確信しています、と締め括られた。

※地区協議会は次号へ続きます。

●次週予告／2006年5月26日第931回例会

◎卓話予定

『企業のリスクマネジメント』

(株)ピー・ディ・エス・サポート代表取締役 打出良夫氏
(紹介者 松永秀和君)